

事務事業名	リフレッシュセンター運営事業	所属部	吉田総合センター	所属課	保健福祉課
政策名	総合計画体系 (Ⅲ) 地域で支えあうくらしづくり《保健・医療・福祉》	所属G	保健福祉G	課長名	堀江健次
施策名	(17) 健康づくりの推進	担当者名	柳楽 恵	電話番号 (内線)	0854-74-0215 4418
基本事業名	(048) 健康づくりの普及啓発	予算科目	会計 款 項 目 中事業 011 115 015 315 018	リフレッシュセンター運営事業	

1 現状把握の部

(1) 事業概要

① 事業期間	② 事業の内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)	③ 開始したきっかけ (いつ頃どんな経緯で開始されたのか?)
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (16年度~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度)	ケアポートよしだの温水プールを活用し、住民が自主的に体力づくり活動に取り組む環境を、社会福祉法人よしだ福祉会に委託して実施する。	平成6年度に高齢者総合福祉施設「ケアポートよしだ」が建設され、施設の特徴として、温泉を活用した健康づくり部門を設けられた。高齢者のみでなく一般の人も利用できる施設である。

(2) トータルコスト

		単位	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (計画)	25年度 (計画)	全体計画
① 事業費の内訳(概要) 運営委託料	事業内訳	国庫支出金	千円					
		県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	13,484	13,484	12,809	12,680	
	事業費計 (A)	千円	13,484	13,484	12,809	12,680	0	
② 延べ業務時間の内訳(業務の流れ等) 事業委託契約の締結。委託料の支払。実績報告書の受付。精算。	人件費	正規職員従事人数	人	3	3	3		
		延べ業務時間	時間	170	160	160		
		人件費計 (B)	千円	648	622	631	0	0
	トータルコスト(A)+(B)	千円	14,132	14,106	13,440	12,680	0	

(3) 事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

手段	① 主な活動	指標名	単位	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	最終
				(実績)	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)
	23年度実績(23年度に行った主な活動) 温水プール利用者数 3953人	⑤ 活動指標							
		ア 委託料の支払回数	回	2	2	2	2		
	24年度計画(24年度に計画している主な活動)								
	23年度に同じ								

目的	② 対象(誰、何を対象にしているのか)	指標名	単位	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	最終
				(実績)	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)
	市民	⑥ 対象指標							
		ア 雲南市の人口	人	42,402	41,917	41,159	41,032		
	③ 意図(対象がどのような状態になるのか)	⑦ 成果指標							
	温水プールを使った健康教室や、健康づくり活動を自主的に行なってもらう。	ア 利用者数	人	4,298	4,008	3,953	4,000		
		イ 自主活動グループ数	団体		5	5	6		
	④ 結果(どんな上位目的に結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標							
	市民の健康を増進する。	ア 日常的に健康づくりに取り組んでいる市民の割合	%	62.1	64.6	66.5	66.5		

(4) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	② この事務事業に関するこれまでの改革改善の取り組み経緯	③ この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
利用者は、平成7年の27,400人がピークで、近隣に類似施設が建設されたことや、合併後、利用料の見直しを行なったこと等により、年々減少してきている。	事業費については、効率的な運営に努められているが、燃料費の高騰や施設の老朽化もあり大幅な削減が出来ない。	利用者からは、温水がきれいであり好評である。冬季間は運営効率が悪い為閉鎖しており、利用者の苦情がある。

事務事業名	リフレッシュセンター運営事業	所属部	吉田総合センター	所属課	保健福祉課
-------	----------------	-----	----------	-----	-------

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 ↷ 住民が自主的に健康づくりに取り組むことは、住民の健康を増進することに繋がるものである。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 ↷ 住民が自主的に健康づくりに取り組める環境は、様々考えられるが、民間によるサービスの場の提供が無い地域については、行政が施策として行う必要がある。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 ↷ 限定及び、追加は考えにくい。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↷ 温水プールを活用した健康づくりの効果の広報活動及び、法人独自の運動教室などの開催と運営。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 ↷ ・自主的な健康づくりの出来る新たな施策が必要がある。 ・プール運営を廃止すると、水中運動による転倒予防の展開が出来なくなる。
効率性 評価	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↷ 水中運動の効用は、ウォーキングと同様に酸素をいっぱい体内に取り込んで脂肪を燃焼させることや、筋力・持久力が向上することであり、水中では浮力のため楽に動くことが出来る。
	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷ ・運営上大きな割合を占める燃料光熱費は高止まりしたまま、元の水準に戻らず、これ以上の経費の削減は困難。
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方の工夫で延べ業務時間を削減可能か? 成果を下げずに正職員以外や委託でできないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷ 職員の関わりは、現在最小であり、これ以上の削減は出来ない。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↷ 誰でも利用できる。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	水中運動の有効性は、旧吉田村で行ってきた「転倒予防事業」で確認され、「身体教育医学研究所うんなん」の開設を通して雲南市全体へ波及している。																						
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> (廃止・休止の場合は記入不要)			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×		低下		×	×
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																							
公共交通網が十分でない事が一般利用の伸びない一因でもあると考えられる。																							